



感染対策の実際 ~ PART2.防護用具 ~

感染制御部 太田 悦子

防護用具の適切な使用は院内感染対策上とても重要なことです。接触感染対策の必要な場合だけでなく、標準予防策においても、未知の細菌やウイルスから医療従事者を守り、また交差感染を予防することができます。今回は、適切な防護用具の使用について確認します。

防護用具の種類

マスク・手袋・プラスチックエプロン・帽子・フェイスシールド・ゴーグル・シューズカバーなど

防護用具の使用基準

- ・血液・体液など生体物質に接触する可能性があるとき
- ・粘膜、損傷のある皮膚に接触するとき
- ・ガーゼ交換などで汚染ガーゼを除去するとき
- ・鋭利な器材を扱うとき（例：採血時、ルート確保、抜針時）
- ・汚染器材を取り扱うとき
- ・手に傷があるとき

防護用具の設置

防護用具は必要な時に、すぐ使用できるように設置する必要があります。各部署での、防護用具設置方法を紹介します。

接触感染対策の部屋



掲示は患者様の承諾を得てください。

必要なときすぐ使用できるよう、廊下にランダムに設置



耳鼻科外来では、各診察室に防護用具を設置



入室後すぐ防護用具を使用できるよう、室内のドア付近に設置



こんなことしていませんか？



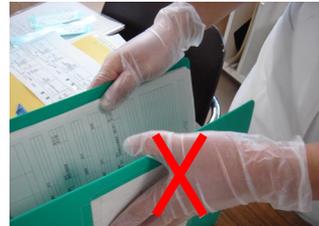
ガーゼ交換時、素手でやっていませんか？



集尿作業を素手でしていませんか？



素手で採血していませんか？



手袋をしたまま記録や事務作業をしていませんか？

防護用具の使用後

防護用具を着用しても、脱衣時に汚染面に素手で触れたり、環境を汚染するような使用を行うことで、かえって汚染源を拡大してしまう恐れがあります。また、手袋には微小な穴が開いていることがあり、手袋をしていたからと安心せず、脱衣、その後の手指衛生まで気を配りましょう。（防護用具の脱衣方法は感染管理マニュアルの標準予防策の項目参照してください）

ご存知ですか？

～ 10月からゴーグルが採用されました～



ゴーグルはマスクとセットで使用してください。ゴーグルは物流システムで請求できます。



寒くなってきました。風邪症状がある人はマスクをしましょう！